

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (鹿ノ瀬海域 10号)

前回 (1/23) 調査同様、コシノディスカスが全域において確認されています。窒素は中央から西部域で  $3 \mu\text{g at/L}$  台、東部域で  $5 \mu\text{g at/L}$  前後の値でした。

(水温) 漁場平均 $10.6^\circ\text{C}$ 。平年より $1.4^\circ\text{C}$ 、昨年より $2.3^\circ\text{C}$ ともに高い。(塩分) 平均 $31.84\text{psu}$ 。前回 (31.85) と概ね同値。  
 (栄養塩、珪藻) コシノディスカスが全域で見られ、発生量は海水1Lあたり概ね100~150細胞と前回調査と比較し少し増加しているが、それ以外の珪藻はほとんど認められない。まとまった降雨等による栄養塩供給が無いことから、播磨灘西部域全体において栄養塩が漸減傾向にあり、その影響がこの海域西部においても見られつつある。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.4	10.6	9.2	8.3
窒素	5.0	3.9	2.0	2.5
リン	0.53	0.44	0.38	0.41

(1/23) (1/31)

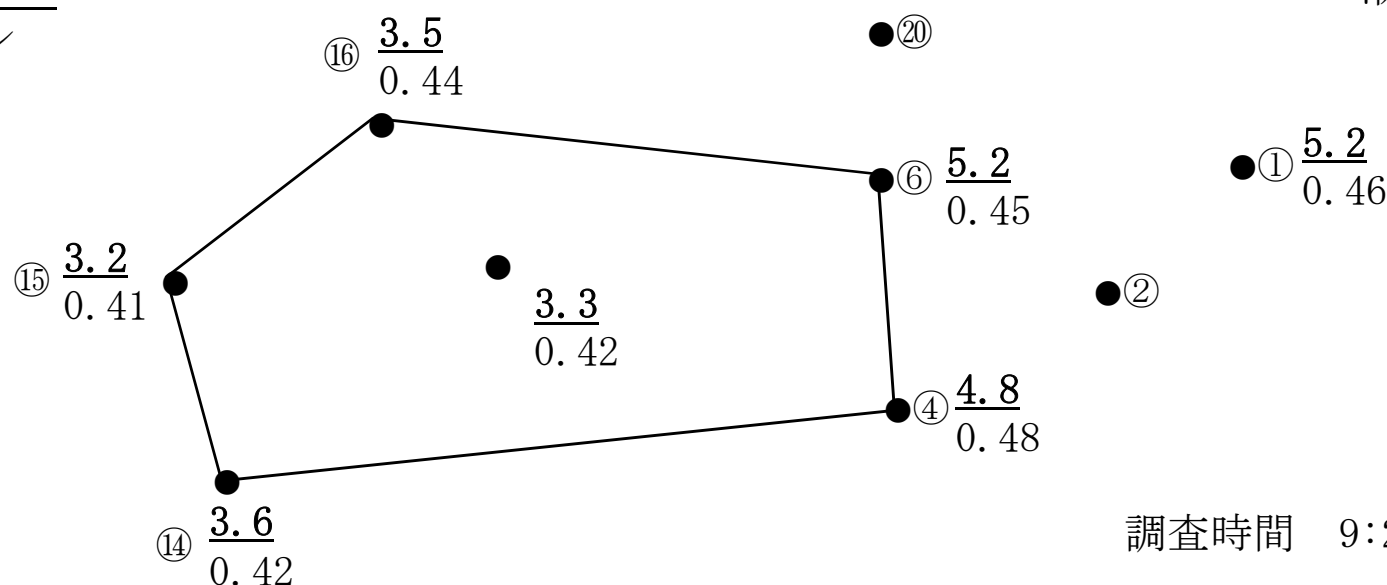
平成31年 1月30日調査

## 栄養塩図

潮：下げ潮

窒素

リン



調査時間 9:22~10:05

(カンタマ① 7:27)

## 水温・塩分図

水温

塩分

